

2025年度 Homecoming Day  
**ホームカミングデー**  
**同窓会総会**

外大祭  
同時開催

日時 2025年10月25日(土)

場所 関西外国語大学 中宮キャンパス  
 (京阪電車 枚方市駅下車 京阪バス北口3番乗り場より約8分)

お申込みはこちら /  
  
 ホームカミングデーにご参加の方は  
 左の2次元コードからお申し込みいただくか  
 同封のハガキを返送してください。  
 同窓会のホームページや  
**Eメール: info@kansai-gaidai-dousou.jp**  
 でも申込可能です。



当日のスケジュール

※不測の事態により、スケジュールや内容に変更が生じる場合があります。  
 その際には、ホームページなどで告知いたしますのでご確認ください。

- 第1部 11:00 ~ 11:30 総会  
 11:30 ~ 11:40 母校の現状報告
- 第2部 11:50 ~ 12:30 演奏会  
 関西外国語大学 吹奏楽部  
 (第1部・2部の会場: 中宮キャンパス マルチメディアホール)
- 第3部 12:40 ~ 15:00 懇親会  
 (会場: 厚生南館食堂)  
 ● 懇親会場では、軽食・お飲み物をご用意しています。  
 ● 懇親会参加費: お一人3,000円(中学生以下は無料)

同窓会公式LINEがスタート!

同窓会では、最新イベント情報や卒業生の活躍、母校のニュースなどをお届けする公式LINEアカウントを開設しました。世代を超えたつながりを深めるため、ぜひご登録ください!

【登録方法】 LINEで「友だち追加」→「二次元コード」で、右のコードを読み取るだけ!



関西外国語大学・短期大学部同窓会 活動支援寄付金のお願い

関西外国語大学・短期大学部同窓会では、皆様からのご寄付を募っています。  
 同窓会の活動資金は大学卒業時に徴収している同窓会費(終身で1万円)が唯一の収入源となっており、その中から会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、在学生への支援などに使われています。しかしながら、収入額がほぼ固定(卒業者数が、ほぼ一定)されているのに対して、支出については会員数の増加および支部の増加等に伴う活動費が年々増大し、近い将来、資金不足が生じることが予想されます。  
 このような状況を踏まえ、この度同窓生の皆様からのご寄付を募ることとしました。皆様からのご寄付により、今後も同窓会を安定的に運営し、皆様のご期待にお応えしたいと考えております。  
 同窓生の皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

- 募集内容 1口 3,000円 以上
- 寄付金の使途 会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、ホームページの維持・管理費、名簿管理費、在学生への奨学金・課外活動等支援奨励金
- 寄付方法 銀行振込(下記口座) ※手数料は自己負担をお願いします。  
 三井住友銀行 枚方支店 (普) 4967505  
 関西外大同窓会寄付金口 会長 藤木英幸(カンサイガイダイトウソウカイキフキングチカイチョウフジキヒデユキ)  
 ※ご依頼人氏名(フルネーム)の後に会員NO.を入力してください(例:y123456)。会員NO.は送付した封筒シール右下のx、y、zから始まる番号です。封筒の紛失等会員番号が分からない場合は、入力していただく必要はございません。
- その他 税法上の寄付金控除の対象とはなりませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先 関西外国語大学・短期大学部同窓会  
 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 ICC4階 6410室 【開室時間】 10:00~16:00(月曜日~金曜日)  
 TEL:072-805-0140(直通) FAX:072-805-2812 ※土曜、日曜、祝日、大学休業日は閉室。  
 info@kansai-gaidai-dousou.jp

メールアドレス登録・  
 変更登録のお願い

登録されたメールアドレス宛てに同窓会などの最新情報を配信しています。  
 会員登録済みでアドレスが未登録またはアドレスを変更された方は登録内容変更フォームよりアドレスの登録・変更登録をお願いします。  
 また住所、氏名などの変更も同窓会のホームページから変更登録をお願いします。



関西外国語大学・短期大学部同窓会誌 第15号 2025年10月1日発行  
 関西外国語大学・短期大学部同窓会 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1  
 Tel. 072-805-0140 Fax. 072-805-2812  
<http://www.kansai-gaidai-dousou.jp/>

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌  
**Alumni** Vol.15  
 Oct. 2025  
**Kansai Gaidai University Alumni Association**



KGUAA

御殿山キャンパス・グローバルタウン  
 CAFÉ COMMONS

## 名誉会長挨拶

同窓会報誌「Alumni」第15号の発行をお祝い申し上げます。また、同窓会の皆様には、日ごろより大学への協力や学生への支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2025年は本学の創立80周年の大きな節目の年となります。1945年11月に大阪市内で産声を上げた谷本英学院をルーツとする本学は、1953年に短期大学を、1966年には4年制大学を開学、さらに1973年に大学院を開設し、1979年には外国語大学で初の博士後期課程を設置するなど、順調に歩みを進めてまいりました。特に本学のグローバル教育は評価が高く、「日本人学生のグローバル教育に熱心」という大学のランキングでは全国1位となりました。(日経CAREER MAGAZINE)

私は日ごろから大学の評価は、卒業生の活躍で決定されると考えております。本学の同窓生の数は約21万人を超える規模となりました。同窓生の活躍は目覚ましく、「卒業生が活躍している大学ランキング」(日経CAREERMAGAZINE近畿圏)で7位。とくにコミュニケーション能力4位と高い評価をいただいています。

この能力を生かして卒業生は、キャビンアテンダントの就職者数で全国1位。ホテルなどホスピタリティー業界においても多くの就職者数を誇っています。

同窓会がその広範なネットワークを充実させつつ結束力を高め、オール関西外大の一員として、母校と車の両輪のように手を携えてきた結果だと信じています。

ご承知のように、18歳人口の減少により大学をめぐる環境は年ごとに厳しさを強めております。2024年度には4年制私立大学の約60%が定員割れ。さらに2024年の出生数は70万人を切り、68万人と国の想定よりも速いスピードで少子化が進んでいます。

このような状況下、本学は、「不留の精神」により、教育の充実に取り組んでいます。近年は、国際共生学部やアジア共創学科の新設、米国公認会計士・USCPAの資格取得プログラムの導入を含む各種制度の拡充、カリキュラム改正に取り組むなど、毎年歩みを止めることなく、大学改革・教育改革を進めています。その結果、2025年度の入学試験では、大学の志願者が初めて単独で2万人を超え、社会からも認知され、これまで以上に高校生から評価されるようになりました。今後も今まで以上に気を引き締めていきます。

最後になりましたが、同窓会のますますの発展を祈念し、母校へのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## Eiko Tanimoto

President of the Board of Trustees, Chancellor, Kansai Gaidai University  
Honorary Chair, Kansai Gaidai University Alumni Association

I would like to extend my heartfelt congratulations on the publication of the 15th issue of the Alumni Association's newsletter, Alumni. I also wish to express my sincere gratitude to all members of the Alumni Association for your continued cooperation with the university and support for our students.

The year 2025 marks a major milestone for Kansai Gaidai—our 80th anniversary. Our institution traces its origins to the founding of the Tanimoto English Academy in Osaka in November 1945. Since then, we have steadily advanced: launching the junior college in 1953, the four-year university in 1966, and our graduate school in 1973. In 1979, we became the first foreign studies university in Japan to establish a doctoral program. Our efforts, particularly in global education, have been highly recognized. In fact, we ranked first nationwide for our commitment to global education for Japanese students (Nikkei Career Magazine).

I have always believed that a university's true value is defined by the achievements of its alumni. Today, the number of Kansai Gaidai graduates has surpassed 210,000. Our alumni have gone on to distinguish themselves in various fields. In the Nikkei Career Magazine rankings of universities with outstanding alumni in the Kansai region, we ranked seventh overall—and an impressive fourth in communication skills.

Our graduates have made excellent use of these abilities: we hold the top position in Japan for the number of alumni employed as cabin attendants, and many have also achieved success in the hospitality industry.

I firmly believe these accomplishments are the result of the Alumni Association's ever-growing network and strong sense of unity. Working in close partnership with the university, the Alumni Association has become an indispensable part of the Kansai Gaidai community.

As you may be aware, the environment surrounding higher education is becoming increasingly challenging due to the declining population of 18-year-olds. In the 2024 academic year, approximately 60% of private universities in Japan failed to meet their enrollment targets. Furthermore, the number of births in 2024 dropped below 700,000—down to 680,000—indicating that the declining birthrate is advancing more rapidly than government projections.

In the face of these difficulties, Kansai Gaidai remains fully committed to enhancing education, guided by the spirit of *furyū no seishin*—the pursuit of continuous improvement. In recent years, we have launched the College of Global Engagement and the School of Japan and Asian Studies, continue to reform our curricula, and implement new programs such as the U.S. CPA (Certified Public Accountant) track. We continue to press forward with educational and institutional reforms every year. As a result, for the first time in our history, the number of applicants for the 2025 entrance exams exceeded 20,000—clear evidence that our efforts are being recognized by society and increasingly appreciated by high school students. We remain committed to building on this momentum.

In closing, I sincerely wish for the continued growth and success of the Alumni Association and humbly ask for your ongoing support and encouragement.

## 会長挨拶

卒業生の皆様

私たちが卒業した関西外国語大学・短期大学部は、本年、創立80周年を迎えます。1945年、終戦からわずか3か月で「これからの日本には英語でのコミュニケーションが必要になる」と日本の未来を見据えた谷本昇、多加子ご夫妻が私財を投じて「谷本英学院」を設立したことが我々の母校の出発点です。

戦後まだまだ日本全体が不安定な中、いち早く英語教育が日本の未来には必ず必要だという信念と、学校を作るという行動力は、今から思えば信じられないほどの先見の明ではないでしょうか？

その後、建学の精神を継承し、着実に発展を遂げてきた関西外大は、歴代の総長・理事長を始めとする教職員が一丸となって努力されてきた結果、今では日本国内にとどまらず、世界にその名前を知らしめており、国際コミュニケーション力においては、国内トップクラスに位置づけられております。一方、日本が抱える少子化の波は全国の大学の運営に大きな逆風となっており、募集人員の定員割れや廃校に追い込まれる大学も増えてきました。

外大も少子化の悪影響を避けられませんが、私たちの母校は強く、今年の入学志願者数は過去最高の数であったという驚くべき情報も届いております。

卒業生の数も80年間で21万人を超え、巣立った卒業生が世界各地のさまざまな分野で活躍しています。

関西外大の同窓会では、卒業生の旧交を暖める場を提供することはもちろんのこと、母校が今後も発展するために、微力ではありますが、寄与していきたいと考えております。

卒業生の皆様におかれましては、今後も母校の発展にご関心を持っていただき、同窓会活動を通じて母校への恩返しにもご協力いただきたいと願っております。毎年、中宮キャンパスで行うホームカミングデーや、全国の支部で開催される懇親会にぜひともご参加いただき、外大の現在を見て、母校の今を感じていただければ幸いです。

最後になりましたが、私たちの母校である関西外大の益々の発展と、卒業生の皆様のご多幸、ご健勝を祈願いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## Hideyuki Fujiki Chair

Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA)

My fellow alumni,

This year, Kansai Gaidai University and Junior College celebrates its 80th anniversary.

The origins of our alma mater date back to 1945, just three months after the end of World War II. It was then that Mr. Noboru Tanimoto and his wife, Takako, with remarkable foresight and a strong belief that Japan's future would require communication in English, used their personal funds to establish the Tanimoto English Institute. Founding a school in such uncertain times—when Japan was still reeling from the aftermath of war—was an extraordinary act of vision and courage.

Since then, Kansai Gaidai has steadily grown and developed under the guiding spirit of its founders. Thanks to the dedicated efforts of successive presidents, chancellors, and faculty members, the university has earned a reputation not only in Japan but also internationally. Today, it is recognized as one of Japan's leading institutions for international communication.

Meanwhile, the declining birthrate in Japan poses significant challenges to universities nationwide, with some institutions facing reduced enrollment or even closure. While Kansai Gaidai is not immune to these broader demographic trends, I am pleased to report that the number of applicants to the university this year reached a record high—a testament to its enduring appeal and strength. Over the past 80 years, more than 210,000 graduates have gone on to thrive in a wide range of fields around the world.

The Kansai Gaidai Alumni Association not only serves as a space for rekindling old friendships but also strives—albeit in modest ways—to support the continued development of our alma mater. We sincerely hope all alumni will maintain an active interest in the university's growth and join us in giving back through alumni activities.

We warmly invite you to attend our annual Homecoming Day held on Nakamiya Campus, as well as the various reunion events organized by local alumni chapters across Japan. These occasions provide wonderful opportunities to reconnect and witness the vibrant present-day Kansai Gaidai.

In closing, I extend my heartfelt wishes for the continued prosperity of Kansai Gaidai and the happiness and good health of all alumni.



関西外国語大学  
理事長・総長  
関西外国語大学・短期大学部同窓会  
名誉会長

谷本 榮子



関西外国語大学・短期大学部同窓会  
会長

藤木 英幸

# 第7期事業計画

～ Starting the Next Chapter ～

2023年10月  
2025年9月

第7期事業計画においては、第6期事業計画を引き継ぎ、『オール関西外大』の理念のもと、大学および短期大学部（関西外大ハイ校を含む）同窓生の横断的な絆の深化を図るとともに、同窓会、母校、現役生とが一体感をもった強固で柔軟かつ持続的な組織の構築をめざす。

また、同窓会設立の原点に回帰した事業方針の一貫性と継続性を堅持しつつ、コロナ禍からの再出発をめざして第6期事業計画での未達成の施策を継続するとともに、同窓会の内外環境の様々な変化に対応することのできる新規事業を事業計画に落とし込みながら、実効性のある施策を実施することとする。

## 1 同窓会組織の充実

- 短期大学部卒業生の同窓会活動への参加推進
- 同窓会への登録推進
- 支部設立の支援
- ホームカミングデーへの参加推進
- 同窓生の連帯強化策の深耕
- 支部活動充実のための支援
- 本部・支部役員候補の発掘と継続的な組織運営の構築

## 2 情報発信の強化

- 情報発信機能 [ 会報誌Alumni・ホームページ・ソーシャルメディア(SNS) ]の有効活用
- ホームページアクセス数・ソーシャルメディア(SNS)のフォロワー数の増加

## 3 現役生への支援活動の多様化

- 修学への経済的支援
- クラブ活動への支援
- 就職支援活動の多様化

## 4 母校との連携強化

母校の関係部署との連携を強化し母校の発展・充実寄与に最大限の効果をもたらす

## 2024年度 収支決算書

自 2023年10月1日 至 2024年9月30日

(単位 円)

科目	予算額	決算額	予算比	備考
<b>1 繰越金</b>	160,659,562	160,659,562	0	
<b>収入の部</b>				
2 同窓会費	30,000,000	26,660,000	△ 3,340,000	2024年3月、8月卒業生入会費
3 寄付金	400,000	241,301	△ 158,699	ホームカミングデー寄付金箱 29,000円 寄付金口座入金 212,300円
4 同窓会懇親会費	1,500,000	1,329,000	△ 171,000	ホームカミングデー、支部総会
5 受取利息	20,000	7,864	△ 12,136	定期預金、普通預金
6 雑収入	0	0	0	
7 預り金収入	30,000	23,154	△ 6,846	源泉徴収
8 収入合計	31,950,000	28,261,319	△ 3,688,681	
<b>9 収入の部合計</b>	<b>192,609,562</b>	<b>188,920,881</b>	<b>△ 3,688,681</b>	
<b>支出の部</b>				
10 行事費	1,800,000	1,643,361	△ 156,639	ホームカミングデー
11 奨学金・協賛費	12,000,000	12,010,000	10,000	同窓会奨学金 課外活動等支援奨励金
12 支部補助金	3,750,000	2,236,307	△ 1,513,693	支部年間補助金 支部総会補助金等
13 外注費	1,700,000	1,706,115	6,115	ホームページ管理費 会員データ管理費等
14 出版・印刷費	3,170,000	3,186,181	16,181	会報誌制作費等
15 会議費	10,000	15,010	5,010	
16 旅費・交通費	800,000	970,340	170,340	事務局職員交通費 役員交通費(支部総会出席)等
17 通信運搬費	4,550,000	4,521,980	△ 28,020	会報誌郵送料 電話代等
18 人件費	2,650,000	2,449,463	△ 200,537	事務局職員給与等
19 雑費	100,000	95,393	△ 4,607	パラスポーツ基金 事務用品費、消耗品費等
20 予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
21 預り金支出	30,000	24,514	△ 5,486	源泉徴収
22 支出合計	31,560,000	28,858,664	△ 2,701,336	
<b>23 次期繰越金</b>	<b>161,049,562</b>	<b>160,062,217</b>	<b>△ 987,345</b>	
<b>24 支出の部合計</b>	<b>192,609,562</b>	<b>188,920,881</b>	<b>△ 3,688,681</b>	

### 次期繰越金内訳

大口定期預金 (三井住友銀行枚方支店)	120,000,000
普通預金 (三井住友銀行枚方支店)	39,981,560
現金	80,657
合計	160,062,217

### 2024年度同窓会奨学金採用者数

所属	採用者数	合計
大学	28人	31人
短大	3人	

### 2024年度課外活動等支援奨励金授与者数

区分	大会の規模	人数	成績
個人	全国規模	16人	1位4人、3位3人、4位2人、5位1人、7位4人、8位2人
	世界規模	1人	2位1人
団体	全国規模	2団体	5位2団体

2024年度課外活動等支援奨励金授与者数

## Homecoming Day

### 2024年度ホームカミングデー・同窓会総会を開催しました

2024年度ホームカミングデー・同窓会総会が10月26日、中宮キャンパスで開かれ、約200人が参加しました。

同窓会総会は午前11時からマルチメディアホールで開かれました。谷本榮子理事長はあいさつで、本学の近況や学部・学科の新設を通じた教育改革の取り組みを紹介し、「2025年は本学の創立80年、ホームカミングデー開始20年を迎える。これまで以上に同窓会と手を携え、ともに前に進みたい」と述べました。

藤木英幸同窓会長は、「母校が輝き続けるために、同窓会も貢献したい」と本学への思いを語りました。そして事業報告、決算・予算報告が承認された後、母校の現在を紹介する動画が放映されました。続いて、米大リーグ「サンディエゴ・パドレス」のダルビッシュ有選手の母親で、1981年に本学を卒業したダルビッシュ郁代さんを迎え、対談形式の講演会が開かれました。

総会に続いて、懇親会が厚生南館食堂で開催されました。久しぶりに再会した同窓生たちは、食事をともにしながら、近況を報告したり、学生時代を懐かしんだりしながら旧交を温めていました。



マルチメディアホールで開かれた同窓会総会



谷本榮子理事長らと記念撮影をするダルビッシュ郁代さん(左)

留学の思い出や有選手の話をしてくれるダルビッシュ郁代さん

## 役員紹介

名誉会長	Honorary Chair	谷本 榮子	Eiko Tanimoto	関西外国語大学 理事長・総長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	菊池 清明	Kiyooki Kikuchi	関西外国語大学 学長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	谷本 和子	Kazuko Tanimoto	関西外国語大学短期大学部 学長

### 第8期同窓会本部役員 (2025年10月1日～2027年9月30日)

会長	Chair	藤木 英幸	Hideyuki Fujiki	外国語学部 (Foreign Studies)	1983年卒
副会長	Vice Chair	横川 一敏	Kazutoshi Yokogawa	外国語学部 (Foreign Studies)	1983年卒
副会長	Vice Chair	松田 裕子	Yuko Matsuda	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
副会長	Vice Chair	井端 義人	Yoshihito Ibata	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
副会長	Vice Chair	前田 英樹	Hideki Maeda	外国語学部 (Foreign Studies)	1992年卒
副会長	Vice Chair	小谷 克則	Katsunori Kotani	大学院博士後期課程 (Graduate School)	2004年修
幹事長	Secretary General	稲増 哲	Satoshi Inamasu	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
会計監査	Auditor	牧志 里美	Satomi Makishi	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
会計監査	Auditor	藤岡 弘樹	Hiroki Fujioka	外国語学部 (Foreign Studies)	1999年卒

# 支部だより



## 関東支部

秋に年間の最大イベント「関東地区同窓会（関東支部総会・懇親会）」を開催するほか、春と夏に懇親会を開催し、卒業生と大学、卒業生と現役学生を繋ぐイベントや、ビジネスの輪を広げるイベント、豪華賞品獲得ゲームなどを企画し、皆様にお楽しみいただいています。

また、ゴルフを通じた交流の場の提供を目的として、昨年、ゴルフコンペを初企画、今年、第2回ゴルフコンペを開催しました。

今後も引き続き、卒業生と大学との懸け橋として、母校の発展に寄与するため、また同窓生の皆様のお役に立てるよう、様々な企画の検討を進めてまいります。

皆様と一体となって関東地区の同窓会を盛り上げて行きたいと

考えていますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

関東支部では、皆様からのご意見、ご要望、ご提案等を受け付けています。お気軽にお声をお聞かせください。

kanto@kansai-gaidai-dousou.jp（関東支部eメールアドレス）



関東地区春の懇親会「Spring Festival 2025」

## 関西支部

関西支部では、大学のお膝元・関西にて、親しみやすく参加しやすい身近なイベントを年に数回開催しています。懐かしいご友人との再会や新たな出会いを通じ、交流の輪を広げていただくことを目的としており、参加された同窓生の皆様からは毎回ご好評をいただいています。

コロナ禍に始まった「オンライン講演会」は現在も年1~2回継続的に開催しており、本会報誌発行時には「第11回」の開催を予定しております。2025年度の「第6回 卒業生Reunion」は、6月28日（土）に大阪市中央公会堂にて開催し、1972年から2017年卒業の50名超の方々にご参加いただきました。

今後も大学や他支部と連携しながら、現役学生との交流も含めた多彩な企画を通じ、同窓生の皆様のつながりがさらに深まり、同窓会全体がより活性化する場を提供してまいります。



第6回 関西外大 卒業生 Reunion

## 中部支部

2025年3月29日、名古屋城近くの猿カフェにて春の恒例「Sakura Party」を開催し、16名が参加しました。続いて5月18日には、第19回春季ゴルフコンペを鈴鹿三鈴カントリークラブで開催し、7名が親睦を深めました。また、7月27日（日）に東京第一ホテル錦（名古屋）で、2025年度中部支部総会&懇親会を開催。今回は、アカベラサークル「VoxChord」の学生の皆さんが初参加し、美しい歌声を披露してくれ、同窓会では初の試みとなりました。今後の予定としては、11月9日（日）に記念すべき第20回秋季ゴルフコンペが予定されています。中部支部では年間4回の定例行事を企画しており、今後も多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2025年度 中部支部 総会・懇親会

## 北陸支部

2023年7月に谷本榮子理事長及び石川県の馳浩知事をお迎えし開催した設立総会では、石川県の馳知事から関西外大との連携協定締結の提案を頂きました。これを受け、北陸支部として橋渡し役を担おうとしていたところ、昨年1月に能登半島地震が発生。また、9月には能登の豪雨災害に見舞われ、協定締結に向けた動きも一時中断を余儀なくされましたが、去る5月30日に自治体では京都府に次いで2例目となる「就職支援協定」という形で協定締結が実現しました。

今年は、6月14日に設立以来3回目の総会・懇親会を開催し、7月21日には、地震で被害に遭った能登を応援するため、能登応援消費ツアーを実施しました。

今年の総会では、仕事の都合で参加できなかった人も多かったことから、今後とも引き続き、新規会員の発掘にも努めるとともに、現在、石川県在住のメンバーが中心となっている支部活動を福井、富山、新潟の会員との連携を強化し、盤石な支部体制を構築していきたいと考えています。



2025年 第3回北陸支部 総会・懇親会

## 九州支部

九州支部は、諸先輩方の努力により2020年に発足、2025年5月には第4回定期総会及び懇親会を開催致しました。大学関係及び同窓会本部より来賓の出席を賜り有意義な楽しい時間を共有することが出来ました。大学関係者及び同窓会本部関係者並びに同窓会諸氏の協力に感謝申し上げます。本年の11月前後には、長崎県、佐賀県の同窓生を軸にした懇親会を計画しております。尚、今後の九州支部の定期総会&懇親会につきましては、交通アクセスを考慮し福岡での開催を定例化し、

定期総会以外の懇親会につきましては、可能な限り九州各県にて執り行う予定です。



2025年 九州支部 定期総会 & 懇親会

## マレーシア支部

2025年の活動実績

1月 新年会

5月 第24回インカレ（大学OB対抗）

ゴルフ大会参加（8位/全24団体）

6月春の懇親会

海外唯一の支部であるマレーシア支部は、今年も活発に活動しました。

1月の新年会では新メンバーが参加し、長年支部長を務めた谷口さんが帰任前最後の参加となりました。

5月にはクアラルンプールのテンブラパーク・カントリークラブで第24回インカレゴルフ大会に関西・大阪外大連合で出場し、ネット8位・グロス14位と健闘、次回大会の幹事校に決定しました。

春の懇親会では家族含め11名が参加し、長年、マレーシア支部を支えてくれた中村さんが6月をもって新しい赴任先に行かれることになり、新メンバーと共に門出を祝いました。

今後は11月のインカレゴルフ、忘年会、留学生受け入れ再開を予定しています。

国内の皆さまからも在マレーシア卒業生の情報提供をお待ちしています。



新年会 谷口さんお疲れ様でした!

春の懇親会 中村さんお疲れ様でした!

## 上海支部

現在活動を休止しております。

# 海外で活躍している同窓生

Active Alumni



ミシガン大学 アジア言語文化学部  
ティーチングプロフェッサー

榊原 芳美

YOSHIMI SAKAKIBARA

1993年 外国語学部 英米語学科 卒業

私はミシガン大学アジア言語文化学部でティーチングプロフェッサーとして日本語を教えています。授業だけでなく、教材開発、試験採点、学生指導、日本文化イベントの企画・運営など、業務は多岐にわたります。夏は帰国し、函館の北海道国際交流センター主催のセミナーで、アカデミックコーディネーターとして留学生に日本語と日本文化を教えています。

日本語教師を目指したきっかけは、高校時代に友人が話した「日本語を教える仕事があるよ」の一言。大好きな国語と英語を活かせる道に衝撃を受け、関西外大への進学を決めました。在学中はアメリカのウォレンウィルソン大学に8か月間留学し、異文化交流や人との関わりを深めました。学内の郵便局で働く傍ら、中国や韓国、チェコ、エチオピアなどの学生や教授との心温まるやりとりも忘れられない思い出です。また、日本の通訳ガイド部で合宿の企画に熱中したことも留学と並ぶ思い出です。

卒業後は流通会社に就職しましたが、「もっと手に職を」と考え、会社を辞めてJALEXの派遣プログラムに参加。アメリカの高校で日本語担当教員のアシスタントとして働く中で、日本語教師になる決意を固めました。帰国後の3年間は英会話学校で働きながら、夏はコロンビア大学で日本語教授法を学ぶ日々。言語学や教授法など幅広く学び、修士論文を経て学位を取得。これがきっかけでミシガン州立大学に招かれ、のちに関西外大の留学生別科を経て、現在の職に就いています。

中でも教材開発は特に楽しく、「笑い」を意識したスライド作りや表現に力を入れています。著書として『初級日本語とびら』や文法ワークブックの制作にも携わりました。今後も、学生の「考える力」や「自己表現力」を育む日本語教育を実践していきたいと思っています。

そして、米国の日本語教師の多くが関西外大卒業生であることに誇りを感じています。「実は私も関西外大」という言葉は今、世界中で人とつながるパワーワードなのです。



JICA海外協力隊 マダガスカル隊員  
コミュニティ開発

松岡 麻依子

MAIKO MATSUOKA

2009年 外国語学部 英米語学科 卒業

現在、JICA海外協力隊としてマダガスカルで活動しています。目標は、地方の農民の暮らしをワークショップや情報提供を通じて豊かにすること。文化紹介や現地の暮らしへの適応も意識しながら、日々奮闘しています。在学中から国際協力に関心があり、掲示板で見た青年海外協力隊の募集に迷わず応募。しかし当時は書類選考落ち。何がしたいのか、何ができるのかという志が曖昧だったのだと思います。それでも夢を諦めず、「経験を積んで再挑戦しよう」と心に決めました。

思い出深いのは約10か月間のイタリア留学です。イタリア語上達を目指し、仲間同士でも日本語を使わず現地語で会話。現地の学生たちから「なぜ日本人同士でイタリア語？」と驚かれることもあり。特に印象的だったのが調理実習。リゾットやジェノベーゼなど定番料理を学び、今でもよく作ります。単位認定が難しいと言われたこの授業も、自分の思いを伝えて認めてもらった経験が強く心に残っています。

学内外のディベート活動にも力を入れました。英語力向上のため、他大学との交流や試合に積極的に参加し、論理的に伝える力を培いました。この経験は後の留学審査や社会人生活にも役立ちました。卒業後は広島のホテルに就職し、その後はイタリア系物流会社で営業や貿易実務を経験。パリコレに出演されるお客様に同行し、パリへと出張したこともあります。

「もっと外の世界へ」と考え、地方移住を決意したのはコロナ禍の中。京都や和歌山の農家、沖縄の民宿での経験を経て、再びJICA海外協力隊に挑戦し合格。夢だった海外ボランティアとして、マダガスカルへ。現地では、森林保護と薪の節約につながる「かまどづくり」のワークショップを企画。現地の人々とのコミュニケーションにもなり、成果も見え始めています。

任期は残り1年。今後は日本の農業と国際協力に関わる仕事を目指しています。「自分がワクワクする道」を指針に、関西外大の仲間とも再会できる日を楽しみにしています。



## 輝く同窓生

昨年8月から本年7月までに掲載された次の皆様方をはじめ、さまざまな分野でご活躍の本会会員を紹介する同窓会ホームページのコンテンツ「輝く同窓生」を是非ご覧ください。



ヴェルサーチェ・ジャパン  
ジミーチュウ・ジャパン

永江 公一氏

1987年  
外国語学部  
英米語学科  
卒業



日本経済新聞社

牧江 邦幸氏

1989年  
外国語学部  
英米語学科  
卒業



丸種株式会社

石原 洋治氏

1989年  
外国語学部  
英米語学科  
卒業



シキボウ株式会社

尾崎 友寿氏

1992年  
外国語学部  
スペイン語学科  
卒業



シークス株式会社

紀川 浩二氏

1999年  
外国語学部  
英米語学科  
卒業



道頓堀プロレス所属  
プロレスラー

晴斗 希氏

2021年  
外国語学部  
スペイン語学科  
卒業



ダイハツ工業  
陸上競技部

西出 優月氏

2022年  
英語国際学部  
卒業

「輝く同窓生」



## 恩師リレーエッセイ

### 変わり続けて、変わらないもの—学び舎としての外大

まずは、このような貴重な機会をいただいた稲増先輩をはじめ、ご関係の皆さまに感謝申し上げます。外大を振り返る中で、「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で専門を学ぶ」という環境が当時から整っていたことに、あらためて気づかされました。

このエッセイのご依頼をいただいた頃、思いがけず本学FBS放送局の学生さんから学生時代についてインタビューを受けることになり、1995年度のシラバスを久しぶりに見直す機会がありました。すると、当時よりすでに「英語で学ぶ」というスタイルが明確に現れていました。たとえば、「商業英語研究」では船荷証券や価格設定などの貿易実務に、また、「英語I・II」では、TOEFL対策や異文化理解に加えて地政学や文学、言語学といった専門的なテーマにも触れられていました。私の専門である言語学では、フェルディナン・ド・ソシュールの説などにも触れており、当時の授業で興味深く取り組んだことを思い出しました（「英語音声学」を1年生から履修していたことも）。留学についても、「語学研修」型ではなく、海外大学への「編入学」形式の交換留学制度が当時から整備されており、語学力の養成にとどまらず、「英語を手段として専門性を育てる」という方針が、当時から明確に示されていました。

こうした教育方針は、のちにヨーロッパを中心に広がった「CLIL」という考え方にも通じるものといえます。CLILとは、言語と専門分野の内容を同時に学ぶ教育法であり、ヨーロッパではCEFRやICLHEなどの言語・言語教育政策の柱ともなっています。外大は、そうした国際的な教育の流れに先んじて実践していたと言えるでしょう。

その後、外国語学部において、言語学に加え、経済学・経営学、そして国際関係といった専門科目がコース制として開設され、さらに経済学、国際関係、言語学を社会科学として複合的に学ぶ学部として英語キャリア学部が2011年に誕生しました。現在、私は英語キャリア学部に所属しています。この学部は社会科学を複合的に学ぶことが特徴です。授業では、英語を使って思考力や情報リテラシー、問題解決力などを養うのと併行し、日本語と英語の両方を使って社会科学の各専門分野の知識と技術を学びます。そして、3年次には海外の提携大学での専門学修を経験します。

このような学びは、「CLIL」をさらに発展させた「CLIL+」と呼べるかもしれません。ここでの「+」とは、英語に加え日本語も駆使し、複数の国や文化にまたがって学びを深めること。そして、社会科学を横断的に学ぶという意味も込められています。

このように、外大の教育は言語と専門知識・技術の統合だけでなく、社会とのつながりを意識した学びへと広がっています。最近では大学に求められる役割として、「教育」「研究」に加えて「社会貢献(Third Mission)」が重視されています。外大ではそれを、「実学」という建学の理念の中に自然に組み込んできました。

たとえば、先ほどのインタビューを依頼してくれたFBS放送局のみなさんは、地域の商店や公共施設取材して外大生に情報発信する、という番組を企画しています。私が呼ばれたのは、番組としてゲストを迎えたことがないFBS放送局のいわば「実験台」としてでした(笑)。この「実験台」は、実際の収録現場では「教員」として、きちんと準備された質問内容、進行方法、場の和ませ方等に、外大の学びがしっかりと息づいているのを実感してもらいました。

クラブ館で久々に学生さんたちの姿に触れ、ふと思い出したのがある卒業生のことです。彼は一度社会に出た後、小学校教員免許状を取得し、現在は教壇に立っています。先日、両家族共々、食事に出かけました。まずは教職という立場で「同僚」になったことが感慨深く、子どもたち同士が仲良くなって食事中にはしゃぎすぎしてしまうのを互いに父親としてなだめ合っているうちに、親としての連帯感も芽生え、世代を超え不思議な感覚すら覚えました。何より外大で時かれた種が外大でたくさんの栄養を吸収し、社会に出て大きく花を咲かせる様子を目の当たりにし、とても温かい気持ちになりました。

こうしたつながりは、外大という共通の学び舎で過ごした時間があつたからこそ生まれるものだと、あらためて感じています。

英語キャリア学部 教授 小谷 克則



## チアリーダー部創設35周年OGと現役が集まりました



1991年に創部されたチアリーダー部は、今年で第35期を迎えました。これを記念して、OG会(室谷美月代表)主催のパーティーが開催され、1期から24期までの卒業生と現役部員が多数集まりました。会は部の歌「バイレーツ賛歌」の合唱で幕を開け、続いて卒業生約20人が当時を思い出しながら、懐かしいチアの演技を披露。創部当初に顧問を務めた高木統禧氏(82)は「ここにいる卒業生現役の部員たちが利他の気持ちで心をかけてきたから今がある。未来についてほしい」と挨拶しました。部では現在も練習前に「水面ざわめき、波立てど、水底、明鏡止水」と唱和し、心を静めてから取り組む伝統が続いています。創部当時の苦労や、全日本チアリーダーング総合選手権での優勝、紅白歌合戦への出演、ベトナム・ハノイの劇場のこけら落としに招かれたりといった歴史も紹介され、会は終始温かな雰囲気にもまれていました。代表の新山愛さん(外国語学部英米語学科)は「伝統を引き継ぎながらがんばっていきます」と決意を語りました。

# 母校の今

## 関西外大の留学

## 学部学科一覧

### 充実したサポートと高い実績を誇る留学プログラム

関西外大では、他大学に先駆けて学位留学制度などを設け、留学前の準備から留学中・留学後に至るまで、手厚いサポートを行ってきました。留学プログラムも豊富で、年間約1,100人の学生たちを海外留学や海外研修に送りだし、在学生の約40%以上が留学を経験しています。留学を通じて語学力を磨き、専門分野の知識を身に付けることはもちろん、世界の広さ、人々の多様さを感じると同時に自分自身や日本について知り、国際感覚を養うことをめざします。

特色  
1

**協定大学数は  
55カ国・地域423大学**

アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、そしてアジアなど、世界各地に協定大学があります。

特色  
2

**年間海外派遣学生数  
約1,100人(定員なし)**

1年次から4年次までに、約半数の学生が留学を経験しています。

特色  
3

**留学期間は  
1週間から最長3年まで**

短期の海外研修から3年間の大学・大学院学位留学まで、幅広い期間の留学プログラムがあります。

特色  
4

**単位互換により  
1年間留学しても4年間で卒業可**

留学先大学で修得した単位は関西外大の単位として認められるため、卒業を遅らせることなく留学できます。

特色  
5

**専門分野と教養を学べる  
留学が充実**

1年以上の留学の目的は「語学」の先にある「専門分野」の修得。現地の学生とともに学士課程の授業を履修します。

特色  
6

**徹底した留学準備教育と  
サポート体制**

留学先大学の授業レベルに対応できる学力やスキルを、留学前に修得します。

特色  
7

**学びたい熱意に応える  
定員のない「給付型」留学奨学金**

一人でも多くの学生が留学を実現できるよう制度を充実。年間派遣学生数の約60%が、このサポートを受けています。

**55カ国・地域 423大学**

関西外大は、圧倒的な海外ネットワークを生かし、年間約1,100人の学生を海外へ送り出し、約1,000人の留学生を受け入れています。

#### NORTH AMERICA

アメリカ (196)  
カナダ (38)

#### LATIN AMERICA

アルゼンチン (3)  
エクアドル (3)  
コロンビア (1)  
チリ (1)  
ドミニカ共和国 (1)  
ブラジル (1)  
ペルー (1)  
メキシコ (5)

#### EUROPE

アイスランド (1)  
アイルランド (1)  
イギリス (6)  
イタリア (5)  
エストニア (1)  
オーストリア (4)  
オランダ (7)  
スイス (1)  
スウェーデン (5)  
スペイン (11)  
チェコ (1)  
ドイツ (8)  
ノルウェー (3)

#### OCEANIA

オーストラリア (18)  
ニュージーランド (6)

#### MIDDLE EAST & AFRICA

イスラエル (1)  
エジプト (1)  
ケニア (1)  
トルコ (2)  
モロッコ (1)  
南アフリカ (1)

#### ASIA

インド (3)  
インドネシア (1)  
カンボジア (1)  
シンガポール (2)  
タイ (5)  
バングラデシュ (1)  
フィリピン (2)  
ベトナム (2)  
マレーシア (2)  
韓国 (15)  
台湾 (2)  
中華人民共和国 (27)

国名の横の数字は協定大学数 (2025年6月現在)

	入学定員(人)	学びの領域	取得可能資格
国際共生学部	<b>70</b> 海外から30人*	All English × Global Studies	—
英語キャリア学部	<b>120</b>	英語 × グローバルビジネス	● 高等学校教諭一種免許状(英語) ● 中学校教諭一種免許状(英語) ● 司書教諭 ● 司書
英語キャリア学部	<b>50</b>	英語 × 教育 小学校教員	● 小学校教諭一種免許状 ※卒業要件 ● 司書教諭 ● 司書
外国語学部	<b>730</b> 200人*	英語 × 地域文化・社会	● 高等学校教諭一種免許状(英語) ● 中学校教諭一種免許状(英語) ● 司書教諭 ● 司書
外国語学部	<b>200</b>	英語 × ITスキル	—
外国語学部	<b>200</b>	英語 × 日本文化・社会	● 高等学校教諭一種免許状(国語) ● 中学校教諭一種免許状(国語) ★ 日本語教員養成課程の修了者には、本学の「修了証」を授与
外国語学部	<b>250</b> 20人*	英語 × スペイン語	● 高等学校教諭一種免許状(英語) ● 中学校教諭一種免許状(英語) ● 高等学校教諭一種免許状(スペイン語) ● 中学校教諭一種免許状(スペイン語) ● 司書教諭 ● 司書
英語国際学部	<b>150</b> 2専攻 合わせて75人*	英語 × 国際政治・経済・社会	● 高等学校教諭一種免許状(英語) ● 中学校教諭一種免許状(英語) ● 司書教諭 ● 司書
英語国際学部	<b>350</b> 2専攻 合わせて75人*	英語 × 中国語	● 高等学校教諭一種免許状(英語) ● 中学校教諭一種免許状(英語) ● 司書教諭 ● 司書
英語国際学部	<b>200</b>	英語 × アジア言語(韓国語など)	★ 日本語教員養成課程の修了者には、本学の「修了証」を授与
短期大学部	<b>500</b>	英語 × 大学3年次編入	● 中学校教諭二種免許状(英語) ● 司書 ● 秘書士
短期大学部	<b>100</b>	英語 × 就職・資格	● 秘書士 ● ビジネス実務士 ● 観光実務士 ● 医師事務作業補助者研修(修了証明書) ● プライダルコーディネーター技能検定 ● MOS(Microsoft Office Specialist) など

\* 3年次編入学定員 **New!** 2026年度4月入学者より導入

# 母校の今

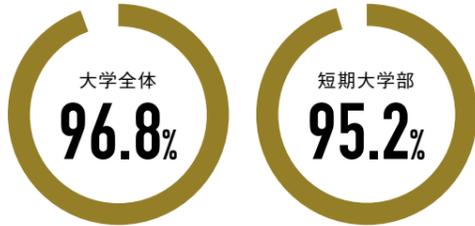
## 関西外大の就職

### 大学で培った力を発揮し、グローバル社会を担う

関西外大での学びで得た成果を発揮できる業界・職種は、国内外を問わず、無限に広がっています。1年次からの心強いキャリアサポートにより、学生一人ひとりが思い描いた未来に向かって進み、毎年、高い就職率を実現。たくさんの卒業生たちが世界を舞台に活躍し、グローバル規模で外大生の評価を高めています。

#### 就職率

(2024年度)  
【就職率=就職者/  
就職希望者】



#### メーカー・製造

食品や自動車、医薬品、電気製品、住宅といった身近な製品から、鉄鋼や化学素材などの原材料、各種部品の製造や加工に携わります。製造・加工した製品は世界中に広がります。



【主な就職先】 パナソニック ホールディングス/京セラ/村田製作所/アイリスオーヤマ/キーエンス/本田技研工業/マツダ/小松製作所/DMG森精機/武田薬品工業/ニプロ/資生堂/ファーストリテイリング/東レ/ワコール/アシックス/ミズノ/コクヨ/伊藤園/ヤクルト本社/山崎製パン

#### 公務員

外交官や国税専門官など、日本という国を支える機関で働く国家公務員。安定した地域社会の構築と維持に貢献する地方公務員。どちらも直接・間接的にさまざまな国の人々と関わりながら働きます。



【主な就職先】 国家公務員(東京国税局、大阪国税局、大阪税関、大阪出入国在留管理局など)/自衛隊(陸上、海上、航空)/都道府県警察/自治体職員(東京都、神奈川県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、福岡県など)

#### 運輸・倉庫

グローバルに物を運ぶ空輸や海運、国内に迅速に物を届ける運輸、それらの物品を受け入れ、配送別に仕分け、出荷する倉庫などの物流に関わります。産業活動や日常生活に欠かせない重要な業種です。



【主な就職先】 日本通運/ヤマト運輸/SGホールディングス/鴻池運輸/近鉄エクスプレス/上組/フェデラルエクスプレスジャパン/ケイラインロジスティクス/三井倉庫ホールディングス/日本郵便/西日本旅客鉄道/近畿日本鉄道/京阪電気鉄道/阪急電鉄/大阪市高速電気軌道/日本貨物鉄道

#### 建設・不動産

橋やトンネル、高速道路や鉄道など生活するうえで必要な構造物を作る土木工事、オフィスや商業施設、マンション、病院などの建設を行います。不動産業は、それらを建てる土地の売買などに関わる仕事です。



【主な就職先】 大和ハウス工業/積水ハウス/熊谷組/きんでん/三井ホーム/住友林業/一条工務店/三菱地所/近鉄不動産/プレサンスコーポレーション/長谷工リアルエステート/大東建託/タマホーム/イオンモール/阪急阪神ビルマネジメント/JR西日本SC開発/学生情報センター

#### 教育・医療・福祉

小・中学生や高校生を導く教育分野。病院やクリニックなど、病気の治療に携わる医療分野。介護や保育など人々を支援する福祉分野。多くの人と触れ合いながら働く仕事です。



【主な就職先】 教員(小学校、中学校、高校など)/ECC/NOVAホールディングス/ベルリッツ・ジャパン/イーオン/ベネッセコーポレーション/東京リーガルマインド/ヒューマンアカデミー/京進/浜学園/徳洲会/ニチイ学館/SOMPOケア/ベネッセスタイルケア/ケア21/日本年金機構/国立病院機構/日本赤十字社

#### コンサル・商社・金融

企業経営や特定の分野で顧客の相談・依頼に応えるコンサルタント、国際的な取引を行う商社、銀行をはじめとした金融機関。いずれも国内外のネットワークや人脈を駆使し、取引先と緊密に連携します。



【主な就職先】 アクセンチュア/あずさ監査法人/トーマツ/船井総合研究所/日本銀行/三井住友銀行/みずほ銀行/りそな銀行/日本郵政/野村證券/ゴールドマン・サックス・ジャパン/リミテッド/日本生命保険/住友生命保険/東京海上日動火災保険/三菱食品/国分グループ本社/リョーサン/日鉄物産/岩谷産業

#### IT・インフラ

世界中に広がるインターネットや情報システムなど、現代社会に欠かせないIT。社会基盤となるインフラ(電気・ガス・水道、電話など)に関わることで、より豊かな暮らしを支えます。



【主な就職先】 富士通/NECネットエスアイ/富士ソフト/ACN/ソフトバンク/楽天グループ/アマゾンジャパン/インターネットイニシアティブ/トランスコスモス/Apple Japan/大塚商会/ダイワボウ情報システムズ/ネットワンシステムズ/住友電工情報システム/関西電力

#### エアライン・観光・サービス

客室乗務員やグランドスタッフ、パイロットなどのエアライン、ホテルや旅行会社など、世界中の人々と接する業種です。ホスピタリティを発揮してお客様に喜びをもたらす、感謝される機会が豊富です。



【主な就職先】 日本航空およびグループ各社/全日本空輸およびグループ各社/キャセイ航空/帝国ホテル/ロイヤルホテル/星野リゾート/近鉄・都ホテルズ/JTB/日本旅行/KNT-CTホールディングス/エイチ・アイ・エス/阪急交通社/ユー・エス・ジェイ/オリエンタルランド/スターバックスコーヒージャパン

#### メディア・コンテンツ

さまざまな情報を発信するテレビやインターネットをはじめとしたメディア、そこで必要となる各種コンテンツの運営や制作・編集に携わります。世界中に有益な情報や楽しさを届ける仕事です。



【主な就職先】 朝日放送グループホールディングス/福岡放送/静岡朝日テレビ/日テレアクセスオン/近鉄ケーブルネットワーク/JCOM/USEN-NEXT/カプコン/吉本興業/LDH JAPAN/サンライズプロモーション東京/ティジョイ/講談社/新日本海新聞社/リクルート/マイナビ

## 数字で見る関西外大

### KANSAI GAIDAI BY THE NUMBERS

#### 国際的な センスが身に付く

受験生からの評価ランキング  
【ブランド力】【関西エリア】

**1**位 ※1

#### グローバルな視野・ 価値観を身につけられる

(関西エリア)

**1**位 ※2

#### グローバル教育に 取り組む大学

近畿の大学で

**1**位 ※5 [全体5位]

#### 海外留学派遣 ランキング

(海外へ派遣した留学生数/総数)

**1**位 \*1 ※4

#### 留学生派遣人数

(2024年度に海外留学を  
実現した学生の総数)

約 **1,100**人

#### 圧倒的な 海外ネットワーク

(2025年6月現在)

約 **55,423**人 力国・地域 大学

#### 留学生の支援に 取り組む大学

近畿の大学で

**1**位 ※5 [全体6位]

#### 編入学ランキング

(編入学/2・3年次)

**1**位 ※3

#### キャビンアテンダント 採用ランキング

(キャビンアテンダント採用/  
採用者(2021~2024年))

**1**位 ※4

#### 外国人留学生

(2024年度 年間受入数)

約 **1,000**人

#### 外国人教員数

(2025年5月現在)

約 **173**人

\*1 総数(16単位以上取得) ※1 リクルート「進学ブランド力調査2023」 ※2 リクルート「進学ブランド力調査2024」  
※3 朝日新聞出版「大学ランキング2025年版」 ※4 朝日新聞出版「大学ランキング2026年版」(朝日新聞出版に無断で転載することを禁じる 朝日新聞出版の承認番号「25-1999」)  
※5 日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学、就職ランキング(2023-2024)日経HR、2023年6月

## Club & Circles

2025年度

体育系、文化系、独立団体などバラエティ豊かなクラブとサークルは、外国語大学だけに語学系クラブも充実。また、全国大会に出場して活躍する学生も多く、優秀な成績を収めています。

#### 体育会クラブ

- アーチェリー部 ●アメリカンフットボール部LYNX ●空手道部 ●関西外大心身統一合気道部 ●剣道部 ●硬式庭球部 ●硬式野球部 ●サッカー部
- 少林寺拳法部 ●女子駅伝部 ●女子ラクロス部 ●水上競技部 ●セバタクロール部 ●ソフトテニス部 ●卓球部 ●チアリーダー部 PYRATES ●軟式野球部
- 日本拳法部 ●バスケットボール部 ●バドミントン部 ●バレーボール部 ●ハンドボール部 ●ボクシング部 ●ラグビー部 ●陸上競技部
- フィギュアスケートサークル(体育会公認サークル)

#### 文化会クラブ

- アウトドア部 ●映画研究部 ●英語研究会(E.S.S.) ●MJA部(Music Joyful Association) ●演劇部「劇団しん」 ●華道部 ●ギター部 ●競技ダンス部
- 軽音楽部 ●I.F.C.国際親善部 ●国際事情研究部 ●混声合唱団 ラベリテ ●茶道部「ぜんしん会」 ●写真部 ●JAZZ研究会BEATS ●出版文芸部(C.P.C.)
- 書道部「墨友會」 ●スペイン語会話部 ●箏曲部 ●ダンス部NODcrew ●通訳ガイドクラブ(I.G.C.) ●ドイツ語研究会 ●美術部 FAC
- フラダンス部 Puamelia ●フラメンコ部 Anda Jaleo ●ボランティア団体ひまわり ●ボランティア団体 枚方レオクラブ ●倶楽部はなしちゃん(中国語)

#### 体育系・ 文化系 サークル

- OSTRICH(バスケットボール) ●関西外大スピリッツ(テニス) ●Gather Point(総合球技) ●Copain(ソフトテニス) ●サンパティック(バドミントン)
- ソフトボールサークル "macchu" ●TRAP×TRAP(バレーボール) ●中宮ウッドベッカーズ(野球) ●BATS(バスケットボール) ●Ballspielen(サッカー)
- Bêê Top(アルティメット) ●MAXIMUM(バスケットボール) ●わくわくバレーボール ●Il sole Italiano(イタリア語) ●Wiz Habitat(ボランティア)
- キャバークラブ(音楽) ●Sound Creation(音楽) ●新日本文化研究会(世界の平和・社会問題) ●Vox Chord(アカペラ) ●Body2(ダンス)
- Magpie(競技かるた) ●Mr.PORORO(韓国語) ●MUSIC MIND(音楽)

#### 独立団体

- FBS放送局 ●関西外国語大学吹奏楽部

2025年3月1日現在

**1** バントワーリングの世界大会で準優勝に輝きました **2024.10.17**

短期大学部2年の山田陽芽さんが、8月にスウェーデンで開かれたバントワーリングの世界大会にJapan1チームのメンバーとして出場し、準優勝に輝きました。山田さんはチームの最年少で参加しましたが、他のメンバーのサポートもあり、準決勝を1位で通過して決勝に進みました。「緊張しましたが演技を始めると楽しんで踊ることができました。前回の大会で学んだことを生かしました」と振り返りました。山田さんは「1位を取ることができずとても悔しいですが、この大会の反省点を生かしてまた世界大会に挑みます」と決意を新たにしています。



世界大会で準優勝に輝いた山田さん(後列左端)

大会で最高のパフォーマンスを演じた山田さん(左端)

**2** 2024年の外大祭が開幕しました **2024.10.26**

円形ステージでのパフォーマンス



外大祭が、10月26日に中宮キャンパスで開幕しました。クラブ・サークルの成果発表をはじめ、オリジナルの飲食など55の模擬店が出店しました。また、訪れた人が楽しめるアクティビティやフォトブース、外大の"あるある"をまとめた展示会も人気を集めました。円形ステージでは、フラダンス部やチャイリーダー部、報徳幼稚園の年中さんによる外大マーチ、ダンス部、ダンスサークルが練習の成果を発表しました。

**3** 少林寺拳法部が全国大会に出場し2部門で日本一に輝きました **2024.11.18**

少林寺拳法部が11月16日、17日に静岡県で開かれた「少林寺拳法全国大会 in ふじのくに」で、女子護身技法の部と大学生女子の部で最優秀(1位)に輝きました。女子護身技法の部で最優秀に輝いたのは、重里海斗拳士(外国語学部英米語学科4年)・初美吹拳士(大阪三島道院拳友会)、大学生女子の部で最優秀を飾ったのは、大崎つぐみ拳士(外国語学部英米語学科3年)・重里愛実拳士(英語国際学部2年)です。団体の部では、関西外大チームがベスト15に入りました。

**2024.11.18**



4年生は最後の全国大会で大健闘しました



左から2人目が山下さん

**4** 山下修也さんが谷本杯学生英語弁論大会で2位に **2024.12.06**

山下修也さん(外国語学部英米語学科3年)が、12月1日に中宮キャンパスで開かれた「第57回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会」で2位に輝きました。この大会は関西外大E.S.S.の主催で、国内大学を対象にした英語弁論大会ではトップレベルの大会として知られ、今回は関西外大、龍谷大、武庫川女子大、高崎経済大、東京大から9人が参加しました。

**5** 競技ダンス部ペアが全日本学生選手権で優勝 **2024.12.21**

競技ダンス部の山田大稀さん(外国語学部英米語学科)と梶紫咲さん(同スペイン語学科)のペアが、12月8日に埼玉県で開かれた「第70回全日本学生競技ダンス選手権大会」のワルツの部で優勝しました。このほか同大会では、タンゴの部で山本啓斗(外国語学部スペイン語学科)・曽根妃実加(同英米語学科)組が3位、スローフォックストロットの部で山口拓海(外国語学部スペイン語学科)・三津陽湖(英語国際学部)組が3位を飾ったほか、バンドブレの部西本創亮(外国語学部スペイン語学科)・中村実乃梨(同英米語学科)組が7位に食い込むなど、好成績を収めました。



ワルツの部で優勝を飾った山田・梶組

**6** 2024年度の学位記授与式が挙行されました **2025.03.08**

2024年度の学位授与式が3月8日に挙行され、2912人がキャンパスを巣立ちました。中宮キャンパスの谷本記念講堂で開かれた式典では大学院と学部との授与式で大庭幸男学長が、短期大学部の授与式では谷本和子学長が式辞を述べました。式典では各学科の総代が代表して学位記を授与され、成績優秀賞が代表者に手渡されました。



2912人が巣立ちました

**7** 英語国際学部アジア共創学科 2025年4月スタート **2025.03.14**

2025年春にスタートしたアジア共創学科では、英語に加えて韓国語、中国語、タイ語、ベトナム語を修得することができます。一方で、新学科の開講の前に既にさまざまなアジアの言語を学ぶ活動がいくつも始まっています。韓国語に興味を持つ学生が交流するイベント「ウリガチ(ウリカチ)」をのぞいてみました。毎回20~40名が参加する人気のイベントで、交流やスピーキングの場を提供しています。運営に携わる久徳怜莉さん(外国語学部英米語学科4年)は、気軽に韓国語を話せる雰囲気作りを心がけています」と話していました。



「ウリガチ(ウリカチ)」の会場

**8** 関西外国語大学・短期大学部 同窓会が奨励金を授与しました **2025.03.15**

関西外国語大学・短期大学部同窓会が給付する、「課外活動等支援奨励金」の授与式が3月14日に中宮キャンパスで行われました。2024年度は2団体と個人16人が選出され、授与式では有本昌剛副会長からそれぞれの代表者に奨励金が手渡されました。奨励金は、課外活動等で顕著な活躍をした団体や個人に対して贈られ、さらなる活躍を願って同窓会から給付されます。有本副会長は「皆さまの活躍をOBやOGに伝える機会となっています。これからの活躍を応援しています」と励ました。代表として競技ダンス部の中村実乃梨さんが「頂いた奨励金はレッスン代や遠征費などに充て、結果という形でお返しできるように引き続き頑張ります」とお礼を述べました。



2団体と16人に奨励金が給付されました

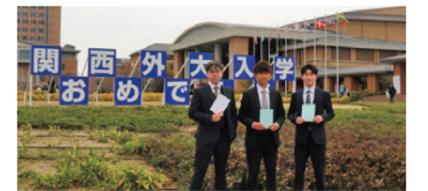
Check!

# 関西外大 TOPICS

2024 ▶ ▶ 2025

**9** 2025年度入学式が挙行されました **2025.04.02**

2025年度入学式が4月2日に谷本記念講堂で行われ、3723人が関西外大の新入生となりました。告辞で菊池学長は、「なぜ関西外大を選んだのか」「なぜ外国語を学ぶのか」と問いかけ、日本の英語教育の現状に触れつつ、海外留学や外国語の重要性を強調しました。そして「国際的な環境を活用して世界に羽ばたいてください」と述べました。谷本和子学長は短大部の告辞で、「受身の学びから主体的な学びへ転換を」と述べ、荀子の言葉を引用し「良き師と学ぶ機会を提供します」と締めくくりました。



3723人が外大生の仲間入りしました



惜しくも1部リーグ2位になりました

**10** 硬式野球部が惜敗1部リーグ2位に **2025.05.10**

硬式野球部が同率首位のプレーオフで惜しくも敗れ、阪神大学野球1部リーグで2位になりました。関西外大は2024年の春季2部リーグ戦で優勝して1部リーグに昇格、今回は1部復帰から2季目のリーグ戦でした。春季リーグは厳しい試合の連続でした。粘り強く、最後まで諦めない野球で勝利を重ね、大阪産業大とともに8勝2敗の同率首位となり、5月8日に優勝を決めるプレーオフに挑みました。

**5** 競技ダンス部ペアが全日本学生選手権で優勝 **2024.12.21**

競技ダンス部の山田大稀さん(外国語学部英米語学科)と梶紫咲さん(同スペイン語学科)のペアが、12月8日に埼玉県で開かれた「第70回全日本学生競技ダンス選手権大会」のワルツの部で優勝しました。このほか同大会では、タンゴの部で山本啓斗(外国語学部スペイン語学科)・曽根妃実加(同英米語学科)組が3位、スローフォックストロットの部で山口拓海(外国語学部スペイン語学科)・三津陽湖(英語国際学部)組が3位を飾ったほか、バンドブレの部西本創亮(外国語学部スペイン語学科)・中村実乃梨(同英米語学科)組が7位に食い込むなど、好成績を収めました。



ワルツの部で優勝を飾った山田・梶組

**11** 女子バスケットボール部の松本莉緒奈選手がU19女子W杯に出場 **2025.07.06**

女子バスケットボール部の松本莉緒奈選手(英語国際学部2年)が、7月12日にチェコで開幕した「FIBA U19女子ワールドカップ2025」に日本代表選手として出場しました。日本代表選手は12人で、松本選手は大阪薫英女学院高校出身。関西からの唯一の選出となりました。日本代表候補選手として第一次強化合宿から参加し、最終選考で代表選手に選出されました。



日本代表は6位で大会を終えました

**12** 土橋立弥さんが「第41回全日本ウエイト制空手選手権大会」で優勝 **2025.07.16**

外国語学部英米語学科3年の土橋立弥さんが、6月29日に大阪市港区のAsueアリーナ大阪で開かれた「第41回全日本ウエイト制空手選手権大会」の男子無差別級で優勝を飾りました。準決勝では前年のチャンピオンを破り、その勢いで見事に優勝を決めました。土橋さんは、全日本大会で優勝したことから11月に開催されるワールドカップへの出場権を獲得しました。しかし、秋学期からの海外留学が決まっていたため、出場を辞退しました。「ワールドカップに挑戦する機会はこれからもまだまだあるので、海外での勉学を優先した」と話しました。



長期間の不調を乗り越えての優勝でした